

# 未来への遺産

VOL.74

## 御代田を襲った 追分火砕流



1108年の追分火砕流の流れた範囲

石垣などに使われているゴツゴツした真っ黒な石「浅間の焼け石」は、現在も御代田町のあちこちで見ることが出来る。これが900年前の浅間山天仁噴火(1108年)の大きなキズ跡である。この真っ黒な石は、時速100キロにも達する追分火砕流とともに、浅間山南麓を流れ下った。

火砕流という言葉は、平成の雲仙普賢岳の噴火で広く世に知れわたったが、高温の火山灰・溶岩片などが一団となって高速で山を流れ下り、その温度は数百度に達する危険な火山現象である。この追分火砕流は、御代田町の東半分から軽井沢町追分にかかる地域をのみ込んだ。エコールみよたの建設時には、直径1メートルを超す焼け石がごろごろ出てきて、現在は石垣に再利用されている。こんなものが時速100キロで流れてきたら、人々はひとたまりもないだろう。

追分火砕流は、これまで御代田をおそった最大の災害といえる。おそらく平安時代当時の御代田の村々は壊滅したに違いない。追分火砕流の下に深く眠っているのだろう。

これは遺産といった意味では、負の災害遺産だが、火山防災の大切さを私たちに教えてもいるのである。



1108年の「焼け石」  
子どもと比べ大きさがわかる。  
(エコールみよた)

### 企画展 “浅間山 謎の大噴火”

■8月31日(日)までお見のがしなく! ■浅間縄文ミュージアム企画展示室

御代田町の人口(6月1日現在)

- 人口 14,384人(先月比+16) 男 7,211人 女 7,173人
- 世帯数 5,660世帯(先月比-2) ●外国人登録者数 797人

みよた広報 やまゆり ●発行/御代田町 〒389-0292 長野県北佐久郡御代田町大字御代田2464-2 ☎0267-32-3111



みよた広報やまゆりは、環境保全のため、大豆油インキを使用しています。